Creative Enzymes®

熱耐性細菌由来のグルタミン酸脱水素酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1701

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	GDHは、炭素と窒素の代謝に関連する酸化還元酵素です。これは、α-ケトグルタル酸とアンモニアをL-グルタミン酸に還元し、その逆も行います。この酵素は、研究用途や診断および食品産業における産業用途において、堅牢で理想的な候補です。
別名	グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NAD+); グルタミン酸酸化還元酵素; グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-連結グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-連結グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD+-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD+:グルタミン酸酸化還元酵素; NADH-連結グルタミン酸脱水素酵素; GLDH; EC 1.4.1.2

製品情報

種	好熱性細菌
由来	E. coli
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 1.4.1.2
CAS登□番号	9001-46-1
分子量	270 kDa; ホモヘキサマー（サブユニットあたり45 kDa）
活性	> 90 U/mg タンパク質
濃度	タンパク質濃度: > 13% (w/w)
pH安定性	7-8.5
最適pH	8
熱安定性	20-70°C、50°Cで8時間以上85%の活性を維持します。
最適温度	50°C
単位定義	1ユニットは、50°C、pH 8.0で1分間に1μmolのα-ケトグルタル酸をグルタミン酸に□換することとして定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20 °Cで